

「3・3・3運動」における「3mの離隔」を見える化



安全重点実施事項を「3・3・3運動」の継続実施と定着と定め、現場で実地訓練を実施した。吊り荷を中心として地面に半径3mの白線を明示し、吊り荷からの離隔3mを見える化して関係者全員が安全な離隔距離を確認・体感することでクレーン作業に対する安全意識を向上させた。